

添付の尺度は、ICD-11 に概説されている適応障害の中核的な特徴のみに焦点を当てた、簡潔で簡単な言葉で書かれた尺度である。IADQ は、臨床的有用性を最大化し、特定の障害の中核症状に焦点を当てることで国際的な適用可能性を確保するという世界保健機関が定めた ICD-11 の組織原則と一致するように開発された。IADQは、すべての利害関係者が自由に利用できるパブリックドメインである。

診断アルゴリズムは以下の通りである。

適応障害の推定診断には、(1)心理社会的ストレス（IADQストレスリストのスコアが1以上、項目1-9）、(2)少なくとも1つの「とらわれ」症状（項目10-12）の評価が2項目以上）が存在している必要がある。また、(3)少なくとも1つの「適応障害」症状（項目13～15）が2項目以上、(4)症状がストレスから1ヶ月以内に始まり（項目16で「はい」と回答）、(5)項目17～19のいずれかによって機能障害の証拠が2項目以上存在している必要がある。

参考文献；

Shevlin, M., Hyland, P., Ben-Ezra, M., Karatzias, T., Cloitre, M., Vallières, F., Bachem, R., & Maercker, A. (2020). Measuring ICD-11 Adjustment Disorder: The Development and Initial Validation of the International Adjustment Disorder Questionnaire. *Acta Psychiatrica Scandinavica*, *141*, 265-274. doi: 10.1111/acps.13126.

関連資料；

Kazlauskas, E., Zelviene, P., Lorenz, L., Quero, S., & Maercker, A. (2018). A scoping review of ICD-11 adjustment disorder research. *European Journal of Psychotraumatology*, *8*(sup7), 1421819.

doi:10.1080/20008198.2017.1421819

Lorenz, L., Hyland, P., Perkonig, A., & Maercker, A. (2018). Is adjustment disorder unidimensional or multidimensional? Implications for ICD-11. *International Journal of Methods in Psychiatric Research*, *27*:e1591. doi: 10.1002/mpr.1591

Lorenz, L., Hyland, P., Maercker, A., & Ben-Ezra, M. (2018). An empirical assessment of adjustment disorder as proposed for ICD-11 in a general population sample of Israel. *Journal of Anxiety Disorders*, *54*, 65-70. doi: 10.1016/j.janxdis.2018.01.007

Perkonig, A., Lorenz, L., & Maercker, A. (2018). Prevalence and correlates of ICD-11 adjustment disorder: Findings from the Zurich Adjustment Disorder Study. *International Journal of Clinical and Health Psychology*, *18*, 209-217. doi: 10.1016/j.ijchp.2018.05.001.

THE INTERNATIONAL ADJUSTMENT DISORDER QUESTIONNAIRE (IADQ)

<p>以下は、あなたが経験しているかもしれないストレスのかかる人生の出来事のリストです。以下の出来事のうち、現在あなたに当てはまるものにご記入ください。</p> <p>私は現在…</p>	はい
1. 金銭的な問題（例：請求書の支払いができない、借金をしている）を経験している。	
2. 仕事上の問題（例：失職、解雇、退職、同僚との問題・衝突、担当業務の変更など）を経験している。	
3. 学業上の問題（例：カリキュラムに沿った学習が苦手、課題の締め切りに追われているなど）を経験している。	
4. 住居の問題（例：ストレスのある引っ越し、安全な住居を見つけるのが難しい、安全な住居がないなど）を経験している。	
5. 人間関係の問題（例：離別、別居や離婚、家族や友人との確執、親密さの問題など）を経験している。	
6. 自分自身の健康問題（例：病気の発症や悪化、医学的問題、ケガや障害など）を経験している。	
7. 愛する人の健康問題（例：病気の発症や悪化、医学的問題、ケガや障害など）を経験している。	
8. 介護に関する問題（例：心理的ストレス、時間の負担など）を経験している。	
9. 上記以外の問題を経験している。	

このセクションでは、上記のストレスのかかる出来事のうち少なくとも1つに「はい」と答えた場合のみ記入してください。以下の記述は、ストレスのかかる人生の出来事に関連して人々が時々経験する問題を反映しています。上記の質問で挙げたストレスのかかる人生の出来事について考え、この1ヶ月間に、以下の各項目でどの程度悩んでいたかをお書きください。

	全くない	ほとんどない	どちらでもない	少しある	かなりある
10. ストレスのかかる出来事があってから、心配事が増えた。	0	1	2	3	4
11. ストレスのかかる出来事が頭から離れない。	0	1	2	3	4
12. ストレスのかかる出来事があったせいで、将来何が起こるのか不安になることが多い。	0	1	2	3	4
13. ストレスのかかる出来事があってから、生活に適応するのが難しいと感じている	0	1	2	3	4
14. ストレスのかかる出来事があったせいで、気分を落ち着かせ、リラックスすることが難しい。	0	1	2	3	4
15. ストレスのかかる出来事があったせいで、心のやすらぎを得るのは難しいと感じている。	0	1	2	3	4
16. これらの問題は、ストレスのかかる出来事が起こっ	はい			いいえ	

てから1ヶ月以内に始まりましたか？					
	全く ない	ほとん どない	どちらで もない	少し ある	かなり ある
この1ヶ月で上記のような問題によって、					
17. 人間関係や社会生活に影響をきたしていますか？	0	1	2	3	4
18. 仕事を遂行する能力や学業生活に影響をきたしていますか？	0	1	2	3	4
19. あなたの人生の他の重要な部分に影響がありましたか？	0	1	2	3	4

日本語版翻訳；

藤田純一

横浜市立大学附属病院児童精神科

jun1182@yokohama-cu.ac.jp

2021年1月6日